

別表ロ 再生資源利用促進計画書 ー建設副産物搬出工事用ー

1.工事概要 表面に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出計画

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

現場内利用の欄には、発生量・削減等 のうち、現場内で利用したものについて御記入下さい。

コード14（コード13で7.内陸処分場へ選択した場合のみ記入）

建設副産物の種類	①発生量 単位等： =②+③+④	現場内利用・減量化			現場外搬出について										再生資源利用	
		②利用量 単位： 10	③削減率 単位： %	④減量化量 単位： 11	搬出先名称 3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上に わたる場合は、田紙を貼って下さい。	区分 （公共・民間）	施工条件 （内容） コード12	搬出先場所	住所コード *4	距離 単位： km	搬出先 の種類の コード 13	搬入先 の種類の コード 14	⑤現場外搬出量 単位： 15	⑥再生資源 利用促進率 単位： %	⑦+⑧+⑨ 単位： %	
特定建設資材廃棄物					搬出先1	公共・民間										
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	搬出先2	公共・民間							トン		%	
建設発生木材 （木材が廃棄物 にならなかったもの）	トン	トン	トン	トン	搬出先3	公共・民間							トン		%	
アスファルト・ コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共・民間							トン		%	
建設発生木材 （伐木材、除根材など）	トン	トン	トン	トン	搬出先2	公共・民間							トン		%	
建設廃材	トン	トン	トン	トン	搬出先3	公共・民間							トン		%	
建設組合産物	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共・民間							トン		%	
金属GF	トン	トン	トン	トン	搬出先2	公共・民間							トン		%	
プラスチック	トン	トン	トン	トン	搬出先3	公共・民間							トン		%	
紙GF	トン	トン	トン	トン	搬出先1	公共・民間							トン		%	
7.14.1 （廃棄性）	トン	トン	トン	トン	搬出先2	公共・民間							トン		%	
その他の分別された廃棄物	トン	トン	トン	トン	搬出先3	公共・民間							トン		%	
第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共・民間							地山m ³		%	
第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先2	公共・民間							地山m ³		%	
第三種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先3	公共・民間							地山m ³		%	
第四種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共・民間							地山m ³		%	
液状土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先2	公共・民間							地山m ³		%	
合計	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先3	公共・民間							地山m ³		%	

記入の必要はありません

コード11
1.路盤材
2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他（具体的に記入）

コード12
1.掘削
2.掘削
3.天日乾燥
4.その他（具体的に記入）

コード13
1.A指定処分
2.B指定処分
3.指定処分（注1、注2は準指定処分）
4.指定後には指定されていないが、
搬出後に設計変更し指定処分とされたもの
5.自由処分

コード14（注1は第一種建設発生土）
1.他の工事現場へ再資源利用された場合
2.再資源化施設（土質改良プラントを含む）
3.有償売却（工事請負会社が建設副産物を売却し、
（お金を得た場合）
4.建設発生土ストックヤード（再利用率が決まっている
場合）
5.海面埋立事業、填海、海浜事業を含む

注2再生資源利用促進率について
現場外搬出量のうち、搬出先の種類
コード13 第1～5の合計